

1600 | 教育原理 I

2 単位 (通信授業 2 単位)

高橋陽一教授、田中千賀子講師

授業の概要と目標

教育の本質と目標、その歴史的・社会的意味について考察する。とりわけ、学校を含めた各種教育機関と社会教育・生涯学習を視野に入れ、人生を通じての「教育」の意味を把握する。教科書では、現代社会における子どもと親の関係、とりわけ子どもの権利や親子関係の問題をとりあげ、さらに「教育」概念の思想的・歴史的考察を経て、教育の制度的・社会的変遷と現代社会における教育の意義を考える。さらに、教育基本法を中心に教育の目的と法制について基本的理解を獲得する。

課題の概要

○通信授業課題 1

教科書と学習指導書を踏まえて、教育の制度と歴史について考えるため、年長者の教育体験のヒアリングを通じて教育関係記述の分析研究を行う課題。

○通信授業課題 2

教科書と学習指導書を踏まえて、現代の教育の課題と理念を考える課題。

* 課題については学習指導書『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』を必ず参照すること。

授業計画

[通信授業]

教科書の第 1 部 (第 1 章～第 16 章) を読みながら学習を進め、通信授業課題に取り組むこと。必要に応じて第 2 部も参照すること。

成績評価の方法

◎科目試験

教科書第 1 部 (第 1 章～第 16 章) の範囲より出題する。

履修条件及び履修年次

[履修年次] 2～4 年次

[履修条件] 教職課程に登録していること。

または学芸員課程 (旧課程) に登録していること。

[備 考] 教職課程履修者は、2 年次の履修が望ましい。

学芸員課程 (旧課程) 履修者は、3 年次の履修が望ましい。

教材等

教科書：高橋陽一『教育通義』(武蔵野美術大学出版局 2013 年)

学習指導書：『造形文化科目・教職に関する科目 平成 29 年度』

(武蔵野美術大学造形学部通信教育課程 2017 年)

その他

通信授業課題については『学習指導書』の説明を十分に理解して取りくむこと。